

# こんにちは、総合支援センターです。

〒930-0094 富山市安住町 5-21 富山県総合福祉会館内 TEL:076-432-2987 FAX:076-432-2988  
URL:http://www.toyamav.net/E-mail:info@toyamav.net



## 新年あけましておめでとうございます



本年もどうぞよろしくお願いたします



昨年の能登半島地震では、富山県内でも各地に甚大な被害があり、当センターが入居するサンシップとやまにおいても、ガラスの外壁の落下やエレベーターの破損などの被害が発生しました。その影響によりボランティア交流サロンが1ヶ月休館したほか、エレベーターは1年経過した今でも復旧しておらず、利用者の方々には多大なご不便をおかけしています。

一昨年5月にコロナ感染症が5類に移行し、ようやく当センターでの活動についても、コロナ前のように賑わいが戻ってきたと喜んだのも束の間、また残念なこととなりました。

そのような中でも、昨年10月に開催したボランティア・NPO大会においては、展示やステージ等に延べ60団体に参加いただき、新たに設けた「60秒でLet me know」では、ステージで出展団体が活動を直接紹介するなどし、大勢の来場者と交流を深めました。

また、12月には能登半島地震を踏まえ「災害から命と暮らしを守るために～JVOADから見た能登半島地震の被災現場の経験から～」をテーマにボランティア・NPO活動啓発講演会を開催し、基調講演に続き、県内の災害支援関係機関による意見交換を行いました。

私たちを取り巻く環境は、ますます多様化・複雑化していますが、その課題解決のためには、ボランティア・NPOの参加のもと、県民全てが、行政、企業等と連携・協力し、幸せを実感できるウェルビーイング先進地域を目指して、「協働」の地域づくりを一層推し進めて行くことが必要です。

ボランティア・NPOは、災害救援の分野だけでなく、福祉や青少年育成、まちづくり、環境保護、文化振興など多様な分野において、心豊かな地域社会を創るうえで、なくてはならない存在になっています。当センターでは、今後のさらなる活動の活発化に向けて、支援を充実強化してまいりたいと考えています。



巳年は脱皮を繰り返し成長するへびの姿から飛躍の年とされています。皆様にとって大きな飛躍の年となるようお祈りいたします。



### # 富山県民NPOファンドへの寄付金の状況 #

令和6年度に、当センターにお寄せいただいた寄付金は次のとおりです。(令和6年12月16日現在)

✪寄付金申込件数 111件 ✪寄付金総額 1,325,000円

多くの皆さまから、あたたかいお気持ちをお寄せいただき誠にありがとうございました。この資金を活用して、今後もNPO活動等への支援を行ってまいりたいと思いますので、皆さまのご芳志をお願いいたします。

(本ファンドへの寄付は、寄付金控除の対象となっています。)

### # 令和6年度ボランティア活動普及支援事業費補助金決定一覧 #

- ・ NPO法人富山県レクリエーション協会
- ・ NPO法人TEAM AVANTE
- ・ 富山県地域活性化団体まるごとTOYAMA
- ・ 六渡寺自治会



※ボランティア活動普及支援事業とは…

県内でのグループによる大規模地域清掃活動(県内の公園・道路・河川・海岸・森林・駅等公共の場所、まつりやイベント会場で行う地域清掃活動)をサポートしています。

助成内容:①参加人数[年間で延べ100人日以上の活動(100人×年1日、20人×年5日でも可。)]

②助成対象経費[参加者に配付するお茶等飲料の購入経費(1人につき150円を上限とします) ③助成金限度額[50,000円]

# 広げよう ボランティアの輪 令和6年度 第36回 富山県民ボランティア・NPO大会

ボランティア・NPO活動の発信や参加・連携・交流を目的として、2024年10月10日(木)に富山市民プラザで式典を、19日(土)に富山市総曲輪グランドプラザでフェスティバルを開催しました。

①10日の式典では、庵大会長の挨拶と佐藤副知事からの祝辞の後、県知事表彰に続き、ボランティア・NPO活動に顕著な功績を挙げられた20個人・1企業・18団体等の皆様(会長表彰:20名・10団体・1企業、奨励賞8団体)と、NPO法人やボランティア団体へ多額の寄付をされた皆様(1企業)を顕彰する表彰式が行われました。また、第2部として「(一財)メンタルケア協会富山事務所」、「富山大学『虹の鳥』」に活動事例を発表いただき、引き続き、発表団体、受賞者、来場者交流の集いが行われました。

②19日のフェスティバルには、42のNPO法人とボランティア団体の参加がありました。今年は、パネル展示による団体・活動紹介24ブース、作品等の展示・販売6ブース、7つの活動体験ブースを設けたほか、5団体によるステージ発表やブース出展団体による1分間スピーチ、大型ビジョンでの18団体のPR動画放映を行いました。生憎の雨天にもかかわらず多くの来場者があり、「スタンプラリーをしながら話が聞けてよかった」、「楽しみながら学べてよかった」、「素敵な取り組みだと思う」などの感想をいただきました。

おかげをもちまして盛況に2つの行事を終えることができました。

表彰を受けられました皆様、誠にありがとうございます。ご来場いただきました皆様、そして運営等に協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。



令和6年度 第36回 富山県民ボランティア・NPO大会

とやまの元気！  
ボランティア・NPO  
フェスティバル

日時 2024.10.19(土) 10:00-15:00

- 販売: 作品等を販売します!
- ステージ発表: パフォーマンスを楽しんで!
- 団体PR動点: 大型ビジョンでご紹介します!
- 展示: 活動パネルで紹介!
- 体験: 様々な活動を体験してみよう!
- スタンプラリー: 人数200名以上にオリジナルグッズをプレゼント!
- 一言メッセージ・川柳: 感動・高揚した気持ちを一言書いて!

10月はボランティア活動注目月間です  
主催: 富山県ボランティア・NPO連絡協議会  
後援: 富山県庁、富山県民会館、富山県民センター



## # ボランティア・NPO 活動啓発講演会開催 #

- ボランティア・NPO 活動啓発講演会「災害から命と暮らしを守るために～JVOADが見た能登半島地震の被災現場の経験から～」を開催しました。
- 第1部では発災直後から石川県能登地方において災害復興支援活動を展開しているJVOAD代表理事栗田暢之氏から被災地における災害現場や被災者支援の実態を踏まえて、ボランティア活動の現状と課題、求められる役割や、行政、社協、NPO等の三者連携の重要性等について講演いただきました。
- 第2部では、富山県の佐度参事・県民生活課長、富山県社会福祉協議会の宮崎ボランティアセンター所長、NPO 法人まちづくりスポットの田辺専務理事を加えて、「多様な支援主体による連携強化に向けて」について、意見交換いただきました。
- 参加者からは、「現場を良く知る実際に活動されている方の意見でとても実感がこもっておりためになった。」「平時からの連携や備えが不可欠だと分かった。」「今後、どのようにかわっていけばよいのか自分の課題を持つことができた。」などの声をいただき、学びの多い講演会となりました。



## NO.15 / 団体リレー紹介!

NPO 法人ハートビートからのご紹介!

NPO 法人自立生活支援センター富山  
理事長 平井誠一



缶バッチ!



自動車用  
マグネット

私達は、2000年に障害当事者が主体になりNPO法人として活動を始めました。2000年は障害者も高齢者も「措置から契約」制度に代わり、「住みなれた地域で」ということで新しい福祉制度がスタートしました。「障害者と健常者が共に生きる社会をめざして」ということで障害者の相談部門として活動を始めました。その後、富山生きる場センターを同じ法人として地域活動部門として一緒にすることになりました。富山生きる場センターは、1970年代に「青空のように外に出よう」ということで県下の障害者の人たちが集まって作った「あおぞらの会」が前身で、もっと外に出ようということ活動を始めてきました。制度も少ない時代から地域で暮らしを始めて、地域の人たちとバザーや地域拠点としてのどろんこ作業所を作り廃品回収やパソコン通信などで在宅と施設障害者に仕事提供を行って来ました。

今は、二輪三脚で両方の部門を行いながら、相談部門では障害当事者の何でも相談や福祉サービス利用に関する計画相談を行っています。また、富山生きる場センターでは、日中活動の場として印刷業務や手作りカレンダー、缶バッチ、自動車用マグネット、内部研修会等を行っています。

時代や制度が変わっても、障害者自身が何か新しいことに向かって道を切り拓き、進んでいく方向がいっぱい作っていききたいものですね。

皆さん方とともに生きる社会に向かって、創造し、実践していける社会を障害者自身がその一方を踏み出し、多様なレールを歴史に残していきませんか。障害者と健常者がともに生きる社会を切り拓いてく仲間として活動していきたいです。

開催しました!

## # ネットワークづくりのための『MEET UP EVENT』#

『「防災」地域をつなぐ・地域とつながる～「もしも」に備えて顔の見える関係づくりをはじめよう～』

10月30日(水)開催



今年度第3回目は、県の職員を交えての交流会でした。県の職員から、今年の発災に関するNPOの支援状況や現場のニーズなど情報提供していただき、自分たちの団体では、どのような支援ができるのかなど意見を出し合いました。「災害ボランティアとして支援に入るタイミングは難しいよね」「情報収集は大切じゃないかな」「私たちの団体はどんな支援ができるだろう」「そうゆう支援もできるよね」など分野が違う団体同士だからこそその意見やアドバイスがたくさん出てきました。  
<参加者11名>

## #NPO 法人新規設立団体（令和6年3月～）#

団体名	代表者	所在地	活動内容（概要）	認証日
福祉・保育 まなびーの	宮田 伸朗	高岡市	児童生徒及び地域住民に対する福祉教育及び地域福祉に関する調査研究、並びに保育教育の実践者に対する交流・研修支援事業を行い、富山の地域福祉及び保育教育の発展に寄与することを目的とします。	R6.3.27
富山国際 社会団体	太田 正博	高岡市	文化背景が異なる地域住民間のコミュニケーションが必ずしも円滑になされていない現状を改善すべく、日本籍、外国籍を問わず、富山県内の地域住民が、安全を守る活動、日本語や生活情報の理解促進の活動、交流活動や相互理解を進める活動を行うことで、相互理解を促進し、もって地域住民が安心、安全に住めるとともに、活力ある地域づくりに寄与することを目的とします。	R6.5.21
イナミライ デザイン	小西 正明	南砺市	井波ビジョンステートメント「まざりあい、つづけるまち。井波。」の実現に向け、井波地域のことを支えてきた方々や未来を担う子供たちと協働するまちづくり活動を通じて、歴史文化の継承、伝統工芸の継承及び子育てしやすい町の促進に寄与することを目的とします。	R6.7.25
おるたな とやま	黒田 将史	富山市	児童や家庭、子育てに関わる人たちに対して、こども食堂事業や放課後児童クラブ事業等の子育てに関する事業を行い、児童の健全育成並びに子育て世代の家庭のサポートに寄与することを目的とします。	R6.10.4
杉本家と 戸出の歴史 まちづくり の会	清都 勢憲	高岡市	杉本家の保存活用と戸出地区の歴史的建造物の保存活用と歴史まちづくりを行う。内容としては調査・研究、保存・修復、活用に関する事業を行い、江戸時代初期から続く戸出の町並みの歴史的景観を保全し、地域の歴史的資源を活かした歴史まちづくりに寄与することを目的とし、。地域の方々と一緒に考え、暮らしやすいまちづくりの促進を目指します。	R6.11.19
ToYAMA	畠山 祥	高岡市	伝統工芸産業従事者や歴史文化財の保存に関わる事業者等に対して、持続可能な経営活動を支援する事業を行い、伝統工芸産業、文化財の維持・発展に寄与し、地域活性化に繋げることを目的とします。	R6.12.3

### 総合支援センター相談会・講座情報

- ◆会計・税務事務相談会 1月17日（木）（富山）13：30～
- ◆会計税務基礎講座 1月26日（日）10：00～16：00  
2月 1日（土）13：30～16：00
- ◆NPO法人設立説明会 1月27日（月）13：30～15：00
- ◆マネジメント力向上講座「SNS活用のコツ」 1月31日（金）13：30～16：00
- ◆マネジメント力向上講座「決算資料作成説明会」 2月12日（水）13：30～15：00
- ◆ネットワークづくりのための MEET UP EVENT 2月27日（木）13：30～15：00
- ◆助成金説明会 3月12日（火）18：30～20：00



募集中の相談会・  
講座はこちら



### #令和7年度ロッカー利用団体募集#



富山県総合福祉会館（サンシップとやま）のボランティア交流サロンに設置しているロッカーの利用団体を募集します。  
印刷用の紙や文房具など、団体の活動に利用する物品の収納に是非ご活用ください。

★応募資格：定期的にボランティア交流サロンを利用する団体で、県内でボランティア・NPO活動を行っている団体  
※詳しくは令和7年度ロッカー利用団体募集チラシをご覧ください。

【お問い合わせ・お申し込み先】認定NPO法人富山県民ボランティア総合支援センターまで  
TEL: 076-432-2987 <http://www.toyamav.net/> Email: [info@toyamav.net](mailto:info@toyamav.net)